

経営改善及び連携・活用に関する取組評価 (令和3(2021)年度)

法人名(団体名)	かわさき市民放送株式会社	所管課	総務企画局シティプロモーション推進室
----------	--------------	-----	--------------------

1. 本市が法人に求める経営改善及び連携・活用に関する取組

本市施策における法人の役割

- ・市民生活に必要な地域の情報や市の魅力情報をタイムリーに提供します。
- ・市民が発信する情報を通じ、地域のコミュニティづくりに貢献します。
- ・災害時における緊急放送の担い手となります。

法人の取組と関連する計画	市総合計画と連携する計画等	基本政策 誰もが生きがいを持てる市民自治の地域づくり	施策 迅速で的確な広報・広聴と市民に開かれた情報共有の推進
	分野別計画	川崎市地域防災計画	

4カ年計画の目標

- 身近で役立つ魅力的な番組や地域安全・防災情報を提供すると共に、放送事業を中核とした収益の確保を図り、市に依存しない経営を目指します。
- ・市内唯一のコミュニティFMとして、地域の話や、行政・イベント・交通等の地域に密着したきめ細かな情報を提供し、自社ワイド番組での情報発信を強化します。
 - ・音楽・スポーツ等、魅力ある番組制作を行うとともに、市民の放送参加や番組出演についても積極的に推進します。
 - ・災害時における緊急放送の担い手としての役割を果たすため、定期的に緊急割込放送の訓練を実施するとともに、防災意識の啓発に向けた番組の放送を一層強化します。
 - ・新規番組等の獲得及び放送外事業の開拓拡大に取り組み、継続的な収益確保に努めます。

2. 本市施策推進に向けた事業取組

取組No.	事業名	指標	単位	現状値 (平成29 (2017)年度)	目標値 (令和3 (2021)年度)	実績値 (令和3 (2021)年度)	達成度 (※1)	本市による評価 ・達成状況 (※2) ・費用対効果 (※3)	今後の取組の 方向性 (※4)
①	放送事業	地域情報の発信件数	件	1,690	1,820	3,365	a	A	I
		市民の放送参加人数	人	442	460	906	a		
		防災啓発番組の放送回数	回	119	140	212	a		
		事業別の行政サービスコスト	千円	△ 5,603	△ 1,500	△ 537			

3. 経営健全化に向けた取組

取組No.	項目名	指標	単位	現状値 (平成29 (2017)年度)	目標値 (令和3 (2021)年度)	実績値 (令和3 (2021)年度)	達成度	本市による評価 ・達成状況	今後の取組の 方向性
①	市に依存しない経営体制の確立	市委託料以外の売上比率	%	48.9	51.6	52.5	a	A	I

4. 業務・組織に関する取組

取組No.	項目名	指標	単位	現状値 (平成29 (2017)年度)	目標値 (令和3 (2021)年度)	実績値 (令和3 (2021)年度)	達成度	本市による評価 ・達成状況	今後の取組の 方向性
①	適正・公正な運営体制維持	コンプライアンスに反する事案の発生件数	件	0	0	0	a	A	I

(※1)【 a. 目標値以上、b. 現状値以上～目標値未満、c. 目標達成率60%以上～現状値未満、d. 目標達成率60%未満】

(行政サービスコストに対する達成度については、1. 実績値が目標値の100%未満、2. 実績値が目標値の100%以上～110%未満、3. 実績値が目標値の110%以上～120%未満、4. 実績値が120%以上)

(※2)【A. 目標を達成した、B. ほぼ目標を達成した、C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった、D. 現状を下回るものが多くあった、E. 現状を大幅に下回った】

(※3)【(1). 十分である、(2). 概ね十分である、(3). やや不十分である、(4). 不十分である】

(※4)【I. 現状のまま取組を継続、II. 目標の見直し又は取組の改善を行い取組を継続、III. 状況の変化により取組を中止】

本市による総括

各取組の評価結果を踏まえ、本市が今後法人に期待すること、対策の強化を望む部分など

【令和2(2020)年度取組評価における総括コメントに対する法人の受止めと対応】

令和2年度の市の総括を踏まえ、令和3年度も新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う売上等の影響を最小限に留めるよう、解約防止のための既存番組スポンサーへのきめ細やかな対応を行うとともに、スポットCMの売上獲得や新規番組スポンサーの獲得に取り組みました。また、引き続き、市民に開かれた情報共有の推進に貢献するため、地域情報の発信件数や市民の放送参加人数の増にも積極的に取り組み、災害時における緊急放送の担い手としても、平時から防災情報等を提供しました。設備投資については、令和元年度から着手したスタジオ放送機器等の更新による減価償却費が今後も一時的に増加が見込まれるため、費用対効果や収益への影響を勘案しながら、必要最小限の修繕などに留めました。

【令和3(2021)年度取組評価における総括コメント】

全般にわたり着実に目標を達成し、市民生活に必要な地域の情報・市の魅力情報の発信や地域のコミュニティづくりに貢献しており、災害時における緊急放送の担い手としても、平時から防災情報等の提供を実施していました。特に、地域情報の発信件数及び市民の放送参加人数について、コロナ禍においても積極的に取り組んだことにより、目標を大きく上回る実績をあげたことは評価できます。

スタジオ放送機器等については、令和4年度以降も設備更新による減価償却費の一時的な増加が見込まれますが、費用対効果や収益への影響を勘案しながら設備更新を行い、防災放送の強化や安定的な放送サービスの提供に努めることに期待します。

また、新型コロナウイルス感染症の終息が見えない中、令和4年度以降も認知度向上を図りながら、新規スポンサーの獲得に向けた積極的な営業活動により、放送事業を中核とした収益の確保に努めつつ、市内唯一のコミュニティ放送局として、地域に密着したきめ細かな情報の発信や防災意識の啓発を通じて、市民に開かれた情報共有の推進に貢献していくことを期待します。

法人名(団体名)	かわさき市民放送株式会社	所管課	総務企画局シティプロモーション推進室
----------	--------------	-----	--------------------

2. 本市施策推進に向けた事業取組①(令和3(2021)年度)

事業名	放送事業
計 画 (Plan)	
指標	①地域情報の発信件数、②市民の放送参加人数、③防災啓発番組の放送回数
現状	市民の身近な放送局として、市提供番組枠外においても市民に役立つ情報の提供や市民の番組出演を積極的に実施しています。防災関連放送については、コミュニティFMの最大のミッションとして取り組んでいます。市委託料の逦減に対し、市委託料以外の民間等の売上増により事業収益の確保に努めています。
行動計画	ワイド番組(自社放送枠)内で地域密着情報の発信や市民の放送参加を可能な限り拡大します。また、防災関連については市と連携した訓練や防災啓発番組等の強化を推進します。
具体的な取組内容	新型コロナウイルス感染症の感染対策を実施しながら、川崎市を拠点とするスポーツチームと連携した地域情報の発信やアーカイブ配信に取り組むなど、引き続き、自社ワイド番組内での市政情報や地域情報を積極的に提供します。また、リモート出演を含め、多くの市民が番組出演できるような企画の立案等を行います。防災に関しては、緊急割込み放送に加え、行政の防災訓練に参加し地域防災の広報や災害時放送の周知を図るとともに、防災啓発放送に取り組み、市民の防災意識の向上に貢献します。

実施結果 (Do)

本市施策推進に向けた活動実績	<p>【指標1関連】 自社ワイド番組内にて、川崎市が発信する情報を基にした新型コロナウイルス感染症に関する情報やワクチン接種予約関係情報をはじめ、かわさき子どもの権利の日のつどいや献血に関する情報など多くの情報を定期的又は随時発信しました。また、川崎市を拠点とするスポーツチームと連携し、オリンピックの日本代表選手のインタビューや、選手と地元小学生で行った商店街の清掃活動などの地域活動の情報も積極的に発信しました。加えて、令和3年度は、中原区ソーシャルデザインセンター設立のための検討会の活動にも参加し、それらの活動から得られた地域の団体のイベント情報なども積極的に発信しました。更に、自社HPに「情報募集」というページを作成し、一般リスナー等からも広く情報を募集し、市民活動情報が満載の無料小冊子等のお知らせなど市民の活動や市民に有益な情報を発信しました。前年度に続き、コロナ禍でイベント関連情報を発信できる機会が減ったものの、これらの取組により、地域情報の発信件数は、前年度の実績値を上回り、目標値も達成することができました。</p> <p>【指標2関連】 緊急事態宣言やまん延防止等重点措置等の期間が長期に渡っていたため、各番組で多くの市民に出演してもらうことは困難でしたが、緊急事態宣言中におけるスタジオ出演を中止するなど厳格な対応をしていた前年度と比べ、市広報番組であるホットスタジオをはじめとした自社情報ワイド番組では、感染症対策を実施したスタジオ出演や電話出演など、コロナ禍に合った出演方法に切り替えたことにより、前年度の実績値を上回り、目標値も達成することができました。</p> <p>【指標3関連】 <内訳> ■わが家の危機管理/計104回 ■かわさきぼうさいひろば・割込放送/計12回 ■備える。かわさき/計70回(今回は「備える。かわさき+@」として追加し、更に3.11前後週より回数増 計51回) ■防災一口メモ/計12回 ■川崎市総合防災訓練 素材出し/計1回 ■防災アプリゲスト出演 計1回 ■防災番組ゲスト出演 計5回 ■「備えるフェスタ」関連 計7回(再放送・一部素材放送合計)</p> <p>【その他】 ●かわさき7カ国語情報をspotifyで、一部番組をYouTube等でアーカイブ化を行って自社HPに掲載し、いつでも聴取できるようにしています。</p>
----------------	--

評価 (Check)

本市施策推進に関する指標		目標・実績	H29年度 (現状値)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	地域情報の発信件数	目標値	1,690	1,720	1,750	1,790	1,820	件
	説明 自社ワイド番組での地域情報発信件数	実績値		2,354	2,743	2,965	3,365	
2	市民の放送参加人数	目標値	442	446	450	455	460	人
	説明 自社ワイド番組出演の市民の人数 ※個別設定値:420(現状値の95%)	実績値		1,314	1,091	759	906	
3	防災啓発番組の放送回数	目標値	119	125	130	135	140	回
	説明 防災訓練放送及び防災啓発番組等の回数	実績値		122	149	162	212	

指標1 に対する達成度	a	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載
指標2 に対する達成度	a	
指標3 に対する達成度	a	

法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)

前年度に続き、コロナ禍でイベントが中止するなど厳しい状況が続きましたが、地域情報の発信の更なる強化を自社の使命として社員及び各パーソナリティにも意識付けを徹底し、中原区ソーシャルデザインセンター設立のための検討会での活動や自社HPの「情報募集」コーナーを通じた新たな地域情報を自社ワイド番組内で発信しました。また、市民の放送参加については、電話出演や感染症対策を実施したスタジオ出演により、多くの方に参加いただきました。また、防災訓練放送及び防災啓発番組に関しては、コミュニティ放送局として、改めて最重要のテーマとして強化に取り組み、大幅に増加させることができました。これらの取組により、各指標で目標値を上回ることができました。

	達成状況	区分 A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	区分選択の理由 A	地域情報の発信件数及び防災啓発番組の放送回数については、前年度に続き、高い意識で計画的に取り組んだ結果、目標値を上回ることができました。市民の放送参加人数についても、コロナ禍以前の実績までは回復していませんが、コロナ禍に合った出演方法に切り替えたことにより、目標値を上回ることができました。各指標の目標値を達成したことにより、市民生活に必要な情報の提供や市の魅力発信に寄与したと判断できます。

行政サービスコスト		目標・実績	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	事業別の行政サービスコスト	目標値		637	△ 1,500	△ 1,500	△ 1,500	千円
	説明 直接事業費－直接自己収入	実績値	△ 5,603	△ 4,982	△ 6,647	1,854	△ 537	

行政サービスコストに対する達成度	1). 実績値が目標値の100%未満 2). 実績値が目標値の100%以上～110%未満 3). 実績値が目標値の110%以上～120%未満 4). 実績値が目標値の120%以上
------------------	--

法人コメント(行政サービスコストに対する達成度について)

	費用対効果 (「達成状況」と「行政サービスコストに対する達成度」等を踏まえ評価)	区分 (1). 十分である (2). 概ね十分である (3). やや不十分である (4). 不十分である	区分選択の理由

改善 (Action)

実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止	I. 新型コロナウイルス感染症の終息が見えない中、電話出演等を取り入れながら、引き続き、自社ワイド番組での市政情報や地域情報等の提供並びに市民の番組出演を可能な限り拡大できるよう取り組みます。また、防災に関しては、災害時における緊急情報の担い手として、改めて地域防災の広報や災害時放送の周知や防災啓発放送に取り組み、更なる市民の防災意識の向上に貢献します。行政サービスコストについては、スタジオ放送機器等の更新など安定的に放送サービスを提供するために必要最小限の設備投資を行いつつ、認知度向上を図りながら売上向上に取り組む中で行政サービスコストの更なる縮減に努めます。

3. 経営健全化に向けた取組①(令和3(2021)年度)

項目名	市に依存しない経営体制の確立
計画 (Plan)	
指標	市委託料以外の売上比率
現状	平成29年度決算における売上高全体に占める市委託料以外の売上額の比率は48.9%。
行動計画	営業担当に限らない社全体での営業活動強化により、放送枠・スポットCM等の販売を強化するだけでなく、朗読セミナーなど、放送外の収益も確保します。
具体的な取組内容	新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、各種売上等に影響が出るのが予想されますが、既存スポンサーへの放送継続の働きかけや、スポットCM及び新規番組スポンサーの獲得に引き続き取り組むとともに、放送枠料金の実勢価格の変更を含めた売上向上への取組も継続して推進します。また、朗読セミナー等の放送関連教育事業にも引き続き取り組みます。

実施結果 (Do)

経営健全化に向けた活動実績	<p>【指標1関連】 令和3年度 市委託料 36,717千円 その他売上実績 40,501千円 総売上に占めるその他の売上の割合は52.5%になり、目標値を達成することができました。</p> <p>【その他】 放送収入については、10月の番組契約更新時に、今まで放送本数に關係なく月額固定料金であった料金体系を放送本数単位に変更する見直しを行い、実質的な値上げを行いました。 また、年間を通じた積極的な営業活動の結果、新規レギュラー番組獲得が7件、既存番組の増枠が5件となりました。 一方で、コロナ禍の厳しい事業環境の中で、スポンサーの経営状況も悪化しており、番組・時報CM等の契約終了も7件ありました。 放送外収入について、前年度の朗読セミナーでは前期分の開催が中止を余儀なくされましたが、令和3年度の朗読セミナーでは開催場所を広い会場に変更し、受講者数も増やした上で、前期後期2回実施することができたため、売上・利益とも増加させることができました。 一方で、4年連続で採択されていた環境省の助成金事業「COOL CHOICE」は、売上2,500千円を見込んでおりましたが、不採択とされたほか、前年度に引き続きコロナ禍の中でイベントが中止が相次いだため、司会業務の受注がないなど、放送外収入については苦戦を強いられました。 全体としては、前年度はコロナ禍の影響で放送休止等もあり放送収入にも影響が出ておりましたが、令和3年度は放送休止もなかったため、放送収入以外の売上も加えた売上収入全体では、前年度比+2,947千円となりました。</p>
---------------	---

評価 (Check)

経営健全化に関する指標		目標・実績	H29年度 (現状値)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	市委託料以外の売上比率	目標値		49.2	50.0	50.8	51.6	%
	説明 売上高全体に占める市委託料以外の売上額の比率 ※個別設定値: 46.5(現状値の95%)	実績値	48.9	50.1	50.5	50.7	52.5	
指標1に対する達成度		a	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載					
法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について) 環境省の助成金事業「COOL CHOICE」が採択されないなど放送収入以外の売上は減少しましたが、新規番組スポンサーの獲得や実質的な値上げを伴う料金プランの変更などにより市委託料を除く放送収入では前年度から向上し、放送収入以外の売上減をカバーし、売上全体としても前年度を上回る実績をあげることができました。その結果、市委託料以外の売上比率は52.5%と目標を達成することができました。								

	達成状況 A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	区分	区分選択の理由
		A	新規番組スポンサーの獲得や既存番組の増枠など法人が精力的に活動し、自主財源の獲得に取り組んだ結果、市委託料以外の売上を高い水準で維持し、成果指標である「市委託料以外の売上比率」が目標値を上回る52.5%となりました。これらの取組と結果が、市に依存しない経営体制の確立に向けて着実に進んでいると評価できるため

改善 (Action)

実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	I	Ⅰ. 現状のまま取組を継続 Ⅱ. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 Ⅲ. 状況の変化により取組を中止
	I	新型コロナウイルス感染症の終息が見えない中、引き続き、各種売上等への影響が出るのが予想されますが、認知度向上を図りながら、引き続き、新規スポンサーの獲得に向けた積極的な営業活動により、放送枠・スポットCM等の販売強化への取組を推進します。また、朗読セミナーなど放送外収入の確保も積極的に取り組むとともに、適正なコスト管理による費用の縮減への取組も推進します。


法人名(団体名)	かわさき市民放送株式会社	所管課	総務企画局シティプロモーション推進室
----------	--------------	-----	--------------------

4. 業務・組織に関する取組①(令和3(2021)年度)

項目名	適正・公正な運営体制維持
計画 (Plan)	
指標	コンプライアンスに反する事案の発生件数
現状	法令遵守に基づき運営しています。
行動計画	法令を遵守した運営が行われる体制を維持していきます。
具体的な取組内容	放送事業者として個人情報の取り扱い及び管理等を徹底します。 また、コンプライアンスに関する社内ミーティングや朝礼等での注意喚起を継続します。

実施結果 (Do)	
業務・組織に関する活動実績	【指標1関連】 社内ミーティングや朝礼等で注意喚起を行った結果、コンプライアンスに反する事案の発生はありませんでした。

評価 (Check)								
業務・組織に関する指標		目標・実績	H29年度 (現状値)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	コンプライアンスに反する事案の発生件数	目標値		0	0	0	0	件
	説明 コンプライアンス違反が認められる事案の発生件数	実績値	0	0	0	0	0	
指標1 に対する達成度		a	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載					
法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)								
継続的にコンプライアンス違反の件数を0件としていることで、法人としての信頼獲得に寄与しています。								

	達成状況	区分	区分選択の理由
		A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	A

改善 (Action)		
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止	I

●法人情報

(1)財務状況

収支及び財産の状況(単位:千円)		平成30(2018)年度	令和1(2019)年度	令和2(2020)年度	令和3(2021)年度
損益計算書	営業収益	80,107	77,239	74,285	77,219
	営業費用	70,984	67,516	69,230	68,975
	営業損益	9,124	9,723	5,055	8,243
	経常損益	9,175	9,764	5,078	8,309
	当期損益	6,203	6,615	3,602	6,346
貸借対照表	総資産	170,335	181,074	175,372	185,520
	流動資産	104,503	105,201	97,015	111,955
	固定資産	65,832	75,873	78,357	73,564
	総負債	15,569	19,692	10,388	14,189
	流動負債	9,119	14,752	4,773	7,913
	固定負債	6,450	4,940	5,615	6,276
	純資産	154,767	161,382	164,984	171,330
資本金等	140,000	140,000	140,000	140,000	
剰余金等	14,767	21,382	24,984	31,330	
エラーチェック		OK	OK	OK	OK
本市の財政支出等(単位:千円)		平成30(2018)年度	令和1(2019)年度	令和2(2020)年度	令和3(2021)年度
補助金					
委託料		39,937	38,234	36,617	36,717
指定管理料					
貸付金(年度末残高)					
損失補償・債務保証付債務(年度末残高)					
出資金(年度末状況)		77,000	77,000	77,000	77,000
(市出資率)		55.0%	55.0%	55.0%	55.0%
財務に関する指標		平成30(2018)年度	令和1(2019)年度	令和2(2020)年度	令和3(2021)年度
流動比率(流動資産/流動負債)		1146.0%	713.1%	2032.7%	1414.8%
純資産比率(純資産/総資産)		90.9%	89.1%	94.1%	92.4%
純資産利益率(当期損益/純資産)		4.0%	4.1%	2.2%	3.7%
総資産回転率(営業収益/総資産)		47.0%	42.7%	42.4%	41.6%
収益に占める市の財政支出割合 (補助金+委託料+指定管理料)/営業収益)		49.9%	49.5%	49.3%	47.5%

法人コメント		本市コメント
現状認識	今後の取組の方向性	本市が今後法人に期待することなど
<p>営業収益の増については、年間を通じた積極的な営業活動による新規レギュラー番組獲得などに加え、放送休止など新型コロナウイルス感染症の影響が令和2年度ほどではなかったことや、通期で朗読セミナーが開催できたこと等によるものです。</p> <p>営業費用の減については、駐車場解約など様々な費用削減に努めたことによるものです。当期損益については、上記などの結果、前期比増となりました。</p> <p>資本政策においては、令和4年3月に企業規模に応じた資本金とするための無償減資を行い、資本金を1億4千万円から1億円に、資本準備金を4千万円としました。</p>	<p>今後も新型コロナウイルス感染症の影響が続くものと予想されますが、放送サービスを安定的に提供するため、収益確保に向けた取組として、ホームページやSNS等を活用した情報発信の強化や川崎市の充実したスポーツコンテツを生かした市民参加型の魅力ある番組を企画するなど認知度向上を図りながら、新規スポンサー獲得や放送料金の実勢価格の改善など放送事業の収入向上のほか、朗読セミナーの開催などの放送外事業の開拓拡大など、令和4年度以降の市委託料4%弱の削減を賄える営業収益の向上に向けて、継続して取り組めます。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響がある中、新規レギュラー番組の獲得や通期での朗読セミナーの開催などによる収入確保や、駐車場解約などによる費用削減のほか、資本政策を行うなど、収益確保に向けた様々な取組を実施し、当期損益をコロナ前並みに回復させたことは評価できます。今後も新型コロナウイルス感染症による影響が続くものと予想されますが、営業収益の向上に向けて、取組を一層進めることを期待します。</p>

(2)役員・職員の状況(令和4年7月1日現在)

	常勤(人)			非常勤(人)		
	合計	(うち市派遣)	(うち市OB)	合計	(うち市在職)	(うち市OB)
役員	1	0	0	10	1	0
職員	4	0	0	5	0	0

【備考】

- 総役員に占める本市職員及び退職職員の割合が3分の1を超過していることについての法人の見解
- ・理由
- なし
- ・今後の方向性
- なし